

# 2025年3月期第3四半期 決算補足説明資料

---

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2025年2月12日

<https://www.keikyu.co.jp>



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が算出する「JPX日経インデックス400」の2024年度（2024年8月30日～2025年8月28日）の構成銘柄に当社が選定されました。

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第3四半期決算実績	P. 5
III. 経営計画進捗	P. 20
IV. 2025年3月期 業績予想（変更なし・一部更新）	P. 22

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第3四半期決算実績	P. 5
III. 経営計画進捗	P. 20
IV. 2025年3月期 業績予想（変更なし・一部更新）	P. 22

## 対前年同期（2023年度3Q）

**営業収益：2,111億円（対前年同期+5.3%）**
**営業利益：273億円（+17.1%）**
**親会社株主に帰属する四半期純利益：187億円（+21.4%）**

- 前期の交通事業における運賃改定効果などにより、**増収増益**
- 業績が好調に推移したことに加え、長野京急カントリークラブ事業の承継に伴い法人税等が減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、**増益**

## 通期見通し（2024年11月時点）に対する進捗率

**営業収益：69.7%**
**営業利益：82.9%**
**親会社株主に帰属する四半期純利益：87.0%**

- 営業収益は想定どおりの推移、営業利益は各セグメントの費用減少・期ずれ等により想定を若干上回り推移。
- 業績動向に大きな変化はないため、通期予想は据え置き。

## トピックス

- **CRE戦略部署の新設（⇒ 詳細は21ページ）**
- **「泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業」着工（2024年11月）**  
 泉岳寺駅・JR山手線高輪ゲートウェイ駅・品川駅と地域がつながる交通結節点としての機能を強化。2031年度完成予定。
- **京浜急行バス・川崎鶴見臨港バスの運賃改定申請**  
 2025年3月18日を実施予定日とした改定を申請。（現行運賃220円 ⇒ 上限運賃250円、実施運賃240円）  
 京浜急行バス：横浜均一地区  
 川崎鶴見臨港バス：京浜ブロック（川崎均一地区・横浜均一地区）

※ 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額。  
 ※ 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額。

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第3四半期決算実績	P. 5
III. 経営計画進捗	P. 20
IV. 2025年3月期 業績予想（変更なし・一部更新）	P. 22

# 連結決算実績（概要）

KEIKYU

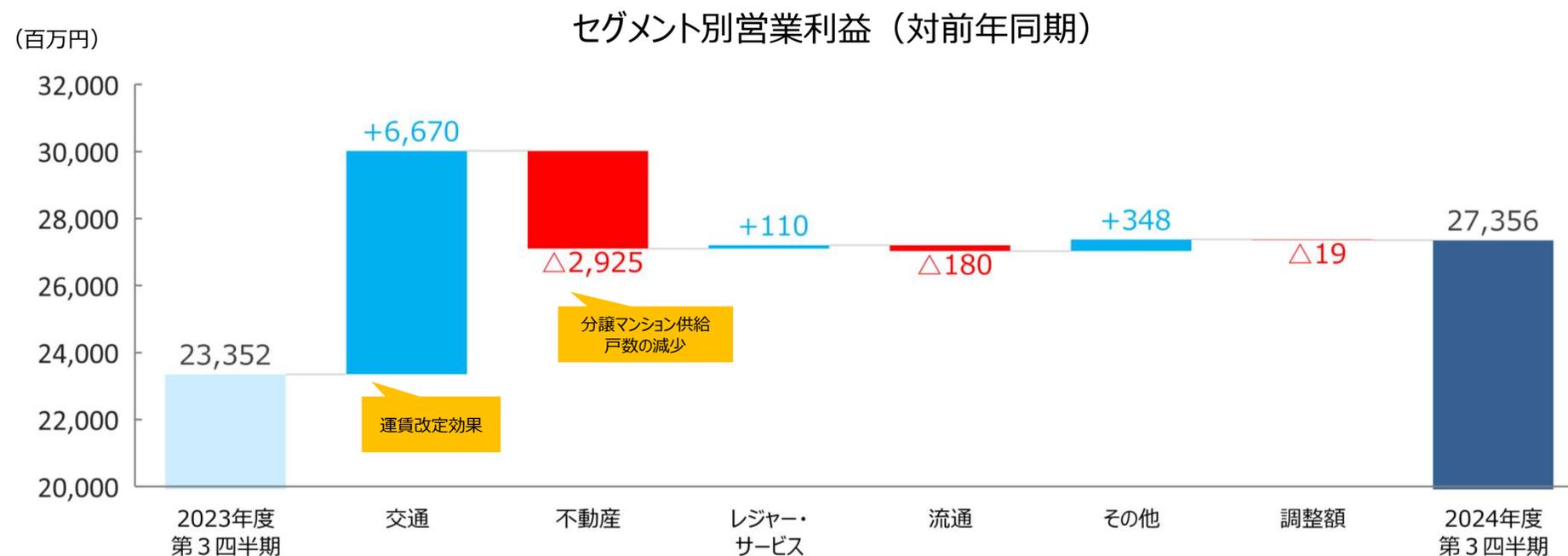
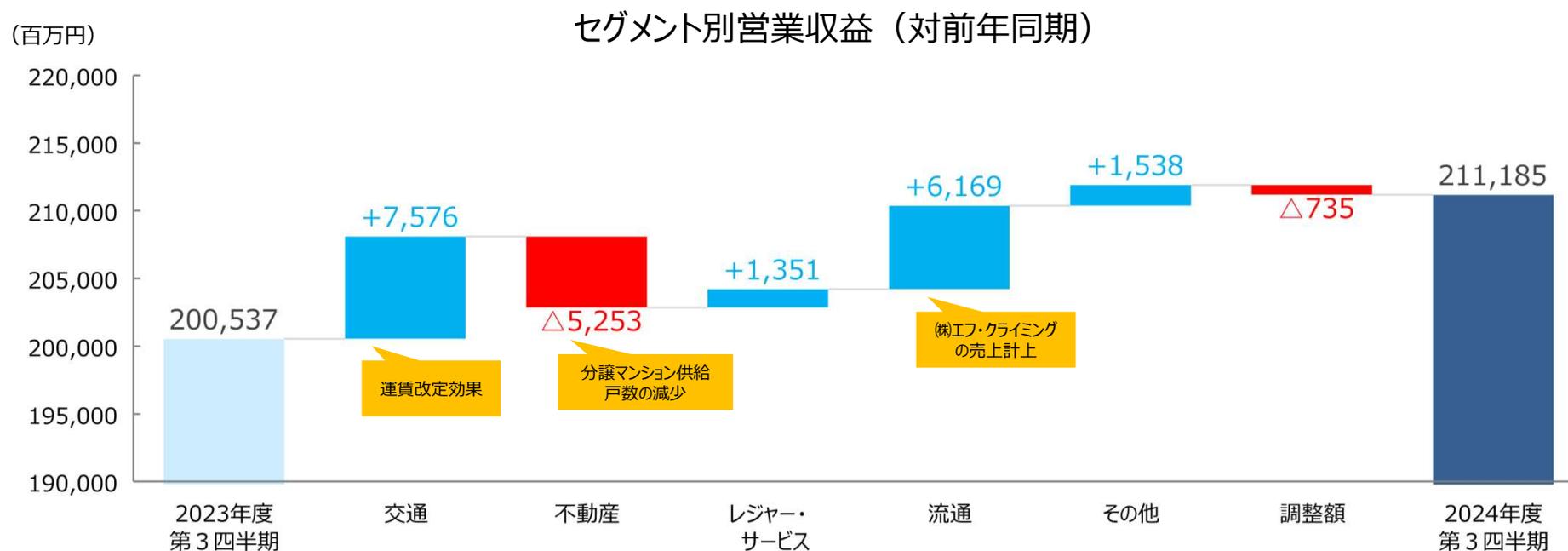
（単位：百万円）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 (通期)	進捗率	
営業収益	200,537	211,185	+10,648	+5.3%	303,000	69.7%	
営業利益	23,352	27,356	+4,004	+17.1%	33,000	82.9%	
経常利益	22,764	25,798	+3,034	+13.3%	31,200	82.7%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,401	18,701	+3,299	+21.4%	21,500	87.0%	
					2024年度 3Q実績	11月予想 (通期) 進捗率	
1株当たり 四半期純利益	55.95円	68.04円	+12.09円		設備投資額 (うち、不動産流動化 SPC出資)	48,529 (13,030)	43.1% (74.9%)

**交通事業** : 鉄道事業の修繕工事費が4Q偏重であるため、通期見通しに対して高進捗。  
**不動産事業** : 分譲マンション引き渡し開始時期が4Q偏重であるため、通期見通しに対して低進捗。

(単位：百万円)

		2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 (通期)	進捗率
交通事業	営業収益	81,791	89,368	+7,576	+9.3%	117,900	75.8%
	営業利益	10,275	16,946	+6,670	+64.9%	17,600	96.3%
不動産事業	営業収益	36,898	31,645	△5,253	△14.2%	66,200	47.8%
	営業利益	6,860	3,934	△2,925	△42.6%	7,000	56.2%
レジャー・ サービス事業	営業収益	22,142	23,493	+1,351	+6.1%	31,200	75.3%
	営業利益	3,816	3,927	+110	+2.9%	4,600	85.4%
流通事業	営業収益	54,875	61,045	+6,169	+11.2%	80,100	76.2%
	営業利益	1,840	1,659	△180	△9.8%	1,800	92.2%
その他	営業収益	25,896	27,435	+1,538	+5.9%	47,100	58.2%
	営業利益	499	848	+348	+69.7%	2,400	35.4%



## 【主な増減理由】

	対前年同期	対11月予想（通期）
営業収益	鉄道・バス事業： 運賃改定・移動需要の回復による増	鉄道事業： 定期外収入は予想を上回って推移
営業利益	-	バス事業： 人件費・燃料費等の減少による上振れ

（単位：百万円）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 （通期）	進捗率
営業収益	81,791	89,368	+7,576	+9.3%	117,900	75.8%
鉄道事業	56,913	63,051	+6,137	+10.8%	83,300	75.7%
バス事業	22,083	23,451	+1,368	+6.2%	30,800	76.1%
タクシー事業	2,794	2,865	+70	+2.5%	3,800	75.4%
営業利益	10,275	16,946	+6,670	+64.9%	17,600	96.3%
鉄道事業	9,139	14,854	+5,715	+62.5%	15,700	94.6%
バス事業	1,184	2,181	+997	+84.2%	2,000	109.1%
タクシー事業	△47	△89	△41	-	△100	-

## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：千人)

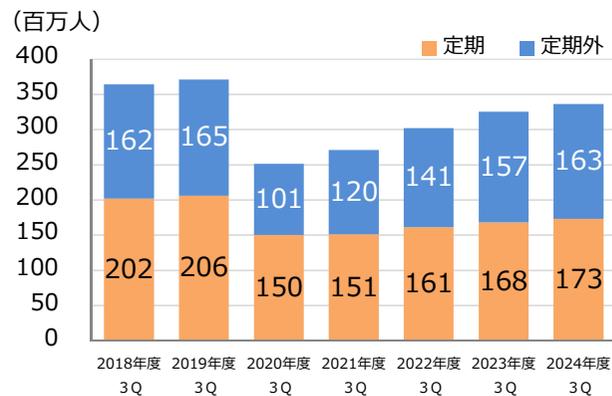
(単位：百万人)

	輸送人員					
	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減数	増減率	11月予想 (通期)	進捗率
定期	168,790	173,019	+4,229	+2.5%	227	76.0%
定期外	157,815	163,595	+5,780	+3.7%	216	75.6%
合計	326,605	336,614	+10,009	+3.1%	444	75.8%

(単位：百万円)

	旅客運輸収入					
	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 (通期)	進捗率
定期	19,578	21,818	+2,240	+11.4%	28,900	75.5%
定期外	35,613	39,397	+3,783	+10.6%	51,900	75.9%
合計	55,192	61,216	+6,023	+10.9%	80,800	75.8%

### <鉄道事業 輸送人員推移>



### <鉄道事業 旅客運輸収入推移>



### <鉄道事業 主な営業費>

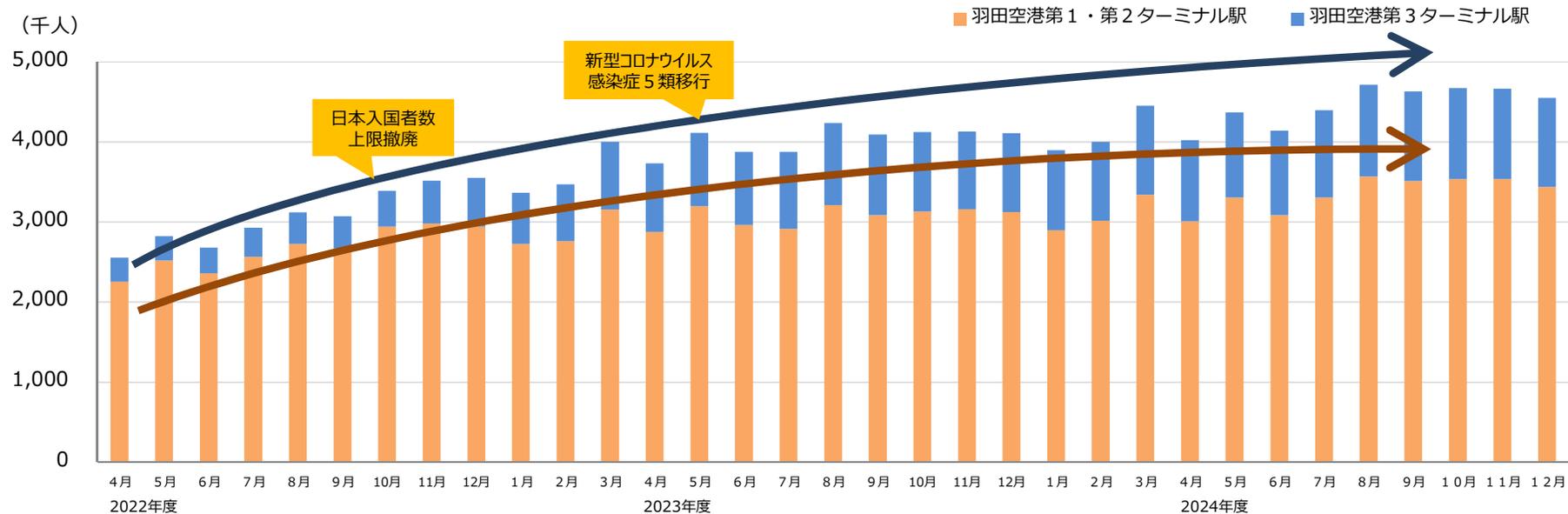
(単位：百万円)

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額
人件費	14,365	14,333	△32
電気動力費	3,705	3,668	△36
修繕工事費	3,108	2,894	△213
固定資産除却費	368	350	△17
減価償却費	12,847	12,679	△167

## <羽田空港 2 駅の輸送人員>

	輸送人員					
	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減数	増減率	11月予想 (通期)	進捗率
羽田空港第1・第2 ターミナル駅	27,661	30,296	+2,635	+9.5%	39	76.6%
羽田空港第3 ターミナル駅	8,626	9,858	+1,232	+14.3%	12	75.9%
合計	36,287	40,154	+3,867	+10.7%	52	76.5%

## <羽田空港 2 駅の月別輸送人員推移>



## 【主な増減理由】

	対前年同期	対11月予想（通期）
営業収益	<b>不動産販売業：</b> マンション分譲：29戸（対前年同期△190戸）  <b>不動産賃貸業：</b> 投資した不動産ファンドからの配当収入の増 5月に開業した横浜シンフォステージの賃料収入による増	—
営業利益	<b>不動産賃貸業：</b> 横浜シンフォステージの開業に伴い、費用が増加したことによる減	<b>不動産賃貸業：</b> 修繕工事費等の4Qへの期ずれ

（単位：百万円）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 （通期）	進捗率
営業収益	36,898	31,645	△5,253	△14.2%	66,200	47.8%
不動産販売業	22,813	17,245	△5,567	△24.4%	46,900	36.8%
不動産賃貸業	14,085	14,399	+314	+2.2%	19,300	74.6%
営業利益	6,860	3,934	△2,925	△42.6%	7,000	56.2%
不動産販売業	2,706	250	△2,456	△90.7%	3,200	7.8%
不動産賃貸業	4,153	3,684	△469	△11.3%	3,800	97.0%

## ＜2024年度3Q時点の主な引渡し物件＞

(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期
プライム横浜井土ヶ谷	95	2023年11月
プレミアムレジデンス横須賀中央	184	2024年2月
プライムフィット横浜富岡	64	2024年3月
プライム川崎	199	2024年3月

## 【主な増減理由】

	対前年同期	対11月予想（通期）
営業収益	<b>ビジネスホテル業：</b> 稼働率（+3.8pt.）・客室単価（+13.7%）上昇による増 <b>レジャー関連施設業：</b> 前期にホテル京急油壺観潮荘が営業終了したことによる減	<b>ビジネスホテル業：</b> 稼働率・客室単価が僅かに予想を上回って推移
営業利益	<b>レジャー関連施設業・レジャーその他：</b> 人件費の増加などによる減	—

（単位：百万円）

＜京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率＞

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 （通期）	進捗率
営業収益	22,142	23,493	+1,351	+6.1%	31,200	75.3%
ビジネスホテル業	6,145	7,623	+1,477	+24.0%	9,500	80.2%
レジャー関連施設業	8,886	8,769	△117	△1.3%	11,900	73.7%
レジャーその他	7,109	7,101	△8	△0.1%	9,800	72.5%
営業利益	3,816	3,927	+110	+2.9%	4,600	85.4%
ビジネスホテル業	1,284	1,705	+421	+32.8%	1,800	94.8%
レジャー関連施設業	1,685	1,590	△95	△5.7%	2,000	79.5%
レジャーその他	846	631	△215	△25.4%	800	78.9%

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減数
稼働率	84.4%	88.2%	+3.8pt.

※ 2024年度でホテル1館を開業。  
〔開業：みなとみらい横浜〕

	2024年 3月末	2024年 12月末
客室数 （室）	2,236	2,398

※  
6月24日：みなとみらい横浜 開業（+150室）  
11月1日：京急蒲田駅前 一部用途転換  
（+12室）

## 【主な増減理由】

	対前年同期	対11月予想（通期）
営業収益	<b>百貨店業・SC業：</b> 百貨店における外商売上の増加やSC業における都内店舗を中心とした館の売上好調などによる増 <b>ストア業：</b> 子会社化した(株)エフ・クライミングの売上計上やSMおよびCVSの既存店の客数好調による増	—
営業利益	<b>百貨店業：</b> 人件費および広告宣伝費の増加による減	<b>ストア業：</b> 水道光熱費および人件費の増加による減 <b>百貨店・SC業：</b> 売上割引および減価償却費の減等による上振れ <b>コンビニ・物販業：</b> 既存店の客数の増加による上振れ

（単位：百万円）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 （通期）	進捗率
営業収益	54,875	61,045	+6,169	+11.2%	80,100	76.2%
百貨店・SC業	12,305	12,823	+517	+4.2%	16,200	79.2%
百貨店業	9,486	9,765	+279	+2.9%	12,200	80.0%
SC業	2,819	3,057	+238	+8.5%	4,000	76.4%
ストア業	42,569	48,221	+5,651	+13.3%	63,900	75.5%
スーパーマーケット業	32,040	37,175	+5,135	+16.0%	49,500	75.1%
コンビニ・物販業ほか	10,529	11,045	+516	+4.9%	14,400	76.7%
営業利益	1,840	1,659	△180	△9.8%	1,800	92.2%
百貨店・SC業	674	781	+106	+15.7%	750	104.1%
百貨店業	340	318	△22	△6.7%	250	127.2%
SC業	334	463	+128	+38.6%	500	92.6%
ストア業	1,165	878	△286	△24.6%	1,050	83.7%
スーパーマーケット業	510	194	△316	△61.9%	300	64.7%
コンビニ・物販業ほか	654	684	+29	+4.5%	750	91.3%

【主な増減理由】

	対前年同期	対11月予想（通期）
営業収益	完成工事の増加による増	-
営業利益	-	-

(単位：百万円)

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	増減率	11月予想 (通期)	進捗率
営業収益	25,896	27,435	+1,538	+5.9%	47,100	58.2%
営業利益	499	848	+348	+69.7%	2,400	35.4%

# 2023・2024年度連結決算実績（四半期別）

（単位：百万円）

		2023年度				2024年度				3Q対2Q
		1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)		
交通事業	営業収益	26,441	26,724	28,625	28,433	29,581	29,764	30,022		
	営業利益	2,349	3,786	4,139	565	4,872	6,832	5,241		
不動産事業	営業収益	9,818	10,912	16,167	23,752	16,573	7,131	7,940	賃貸マンションの1棟売却による増	
	営業利益	1,441	2,329	3,089	2,800	2,243	1,119	571	発生土処分事業費計上による減	
レジャー・サービス事業	営業収益	7,202	7,332	7,607	7,780	7,393	7,721	8,378	ビジネスホテル業の好調推移	
	営業利益	1,193	1,279	1,343	751	908	1,370	1,648		
流通事業	営業収益	17,628	18,157	19,089	17,574	18,341	20,864	21,839	客数の増加による増	
	営業利益	508	612	719	246	577	384	698		
その他	営業収益	6,592	10,072	9,231	20,266	7,273	9,714	10,447	完成工事の増加による増	
	営業利益	△138	226	411	1,030	0	546	301	工事原価の増加による減	
営業収益		62,041	65,984	72,511	80,087	72,860	68,097	70,228		
営業利益		5,505	8,305	9,540	4,688	8,709	10,291	8,355	賞与計上による人件費の増	
経常利益		5,408	8,220	9,135	5,638	8,523	9,810	7,465		
親会社株主に帰属する四半期純利益		3,721	5,485	6,194	68,348	6,895	6,768	5,037		
鉄道旅客運輸収入	定期	6,434	6,414	6,728	6,870	7,337	7,327	7,153		
	定期外	11,379	11,443	12,789	12,756	12,973	12,975	13,447		
	合計	17,814	17,858	19,518	19,626	20,311	20,303	20,600		

# 営業外・特別損益

(単位：百万円)

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減額	主な内訳
営業外収益	2,605	1,955	△650	投資有価証券売却益 92 (対前年同期 △680)
営業外費用	3,194	3,512	+318	
特別利益	224	412	+188	固定資産売却益 229 (対前年同期 +165) 工事負担金等受入額 182 (対前年同期 +131)
特別損失	1,004	2,300	+1,296	固定資産除却損 1,460 (対前年同期 +1,054) 事業譲渡損 415 (対前年同期 +415) 固定資産圧縮損 182 (対前年同期 +131)

# 連結貸借対照表（概要）

（単位：百万円）

	2024年3月末	2024年12月末	増減額	主な増減理由
<b>流動資産</b>	242,157	167,766	△74,391	<b>現金及び預金：</b> ・前期の高輪3丁目土地持分一部譲渡などにかかる未払法人税等の支払い ・品川駅付近連続立体交差事業の工事進捗に伴う支払い  <b>投資有価証券：</b> ・不動産流動化SPC出資
現金及び預金	149,223	43,884	△105,338	
分譲土地建物	65,451	78,556	+13,104	
<b>固定資産</b>	844,745	861,662	+16,917	
有形固定資産	680,050	688,266	+8,216	
投資その他の資産	156,500	164,118	+7,617	
投資有価証券	103,100	113,406	+10,306	
<b>資産合計</b>	<b>1,086,902</b>	<b>1,029,428</b>	<b>△57,473</b>	
<b>負債合計</b> (注1)	729,204	658,203	△71,001	
有利子負債残高 (注2)	487,374	457,780	△29,593	
<b>純資産合計</b> (注1)	357,697	371,225	+13,527	
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,086,902</b>	<b>1,029,428</b>	<b>△57,473</b>	
純有利子負債残高	338,151	413,895	+75,744	
自己資本比率	32.7%	35.8%	+3.1pt.	

(注1) 会計基準の遡及適用により、2024年3月末の繰延税金負債13百万円を利益剰余金に振り替えたため、2024年3月末の負債合計と純資産合計を変更した。

(注2) 社債、借入金の合計額

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第3四半期決算実績	P. 5
III. 経営計画進捗	P. 20
IV. 2025年3月期 業績予想（変更なし・一部更新）	P. 22

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

再掲 (2024年11月11日 2025年3月期 第2四半期 決算説明会資料)

### ROEの向上

- 当社が設定するROE目標値【2026年度6%以上 ⇒ 長期的に8%以上】は、資本市場との対話を通じ、市場の期待水準とギャップがあると認識しており、ROE目標値を再精査中。
- 今後の資本コストの上昇リスクも考慮したうえで、全事業で中長期的にROIC-WACCスプレッドがプラスになる状態を目指し、中長期計画のアップデート中。

### PERの向上

- 資本市場との対話の強化、IR情報の充実・開示内容の精緻化・業績見通しの精度引上げ。
- 成長力の具体的な明示に向けた、さらなる中長期的な収益力強化策の検討。

### 資本収益性向上に資するキャッシュフローアロケーションの構築

- 投資峻別の強化、低収益資産の処分。
- 株主還元強化について検討中。

## FY2024 これまでの進捗

- 資本収益性の低い事業を譲渡し、取り組むべき事業への経営資源集中を推進。
- 事業用地の持分売却を実施し、リスクの分散および早期の資金回収。
- 収益改善に向けて、京浜急行バスと川崎鶴見臨港バスの運賃改定を申請・認可済み。(2025年3月18日改定)

## CRE戦略部署の新設 (2025年4月1日付)

### 当社グループの資本収益性を高める必要性

- 京急グループ第20次総合経営計画では、
- ▶ 経営資源集中によるポートフォリオ変革
  - ▶ さまざまなアセットを活用したリスク分散・資本効率性の向上の両立
  - ▶ 不動産流動化の推進に向けたアセットマネジメント会社(京急アセットマネジメント)設立

### 実現に向けて

プロジェクトチームでの検討をふまえ、不動産の資本収益性を継続的に高めるために、**「CRE戦略」部署を新設**。同部に不動産流動化の実行部署を統合。

**グループ全体の保有不動産の効率・効果的活用を積極的に推進**

※ このほか、品川開発事業等に関係する部署を2025年4月に組織改正し、機能強化予定。

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II. 2025年3月期 第3四半期決算実績	P. 5
III. 経営計画進捗	P. 20
IV. 2025年3月期 業績予想（変更なし・一部更新）	P. 22

# 連結損益計算書（業績予想）

KEIKYU

（単位：億円）

	2023年度	2024年度（11月予想）		増減額	増減率	
		通期予想	上期実績			下期予想
営業収益	2,806	3,030	1,409	1,620	+223	+8.0%
営業利益	280	330	190	139	+49	+17.7%
経常利益	284	312	183	128	+27	+9.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	837	215	136	78	△62	△74.3%

（単位：億円）

	2023年度	2024年度 （11月予想）	増減額
設備投資額 ※ （うち、不動産流動化SPC出資）	1,002 (173)	1,126 (173)	+123 (-)
減価償却費	281	287	+5
1株当たり 当期純利益	304.23円	78.23円	△226.00円

※ 工事負担金等（2023年度164億円、2024年度165億円）を含む

**交通事業**：3Q時点では想定を上回って推移するも、予想据え置き。4Qでは特段のブレーキ材料はなし。  
**不動産事業**：4Qにおいてマンション引き渡しの集中を見込むため、販売進捗は緩やかだが予想は据え置き。

(単位：億円)

		2023年度	2024年度（11月予想）		増減額	増減率	
			通期予想	上期実績			下期予想
交通事業	営業収益	1,102	1,179	593	585	+76	+7.0%
	営業利益	108	176	117	58	+67	+62.3%
不動産事業	営業収益	606	662	237	424	+55	+9.1%
	営業利益	96	70	33	36	△26	△27.5%
レジャー・サービス事業	営業収益	299	312	151	160	+12	+4.3%
	営業利益	45	46	22	23	+0	+0.7%
流通事業	営業収益	724	801	392	408	+76	+10.6%
	営業利益	20	18	9	8	△2	△13.7%
その他	営業収益	461	471	169	301	+9	+2.0%
	営業利益	15	24	5	18	+8	+56.8%

（単位：億円）

	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
営業収益	1,102	1,179	+76	+7.0%
鉄道事業	771	833	+61	+7.9%
バス事業	293	308	+14	+4.9%
タクシー事業	36	38	+1	+3.0%
営業利益	108	176	+67	+62.3%
鉄道事業	96	157	+60	+62.2%
バス事業	12	20	+7	+58.3%
タクシー事業	△0	△1	+0	—

## <鉄道事業 主な営業費>

（単位：億円）

	(参考) 2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額
人件費	195	194	△1
電気動力費	48	48	+0
修繕工事費	57	56	△1
固定資産除却費	7	11	+4
減価償却費	173	170	△2

## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：百万人)

	輸送人員			
	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
定期	222	227	+5	+2.5%
定期外	211	216	+5	+2.6%
合計	433	444	+10	+2.5%

(単位：億円)

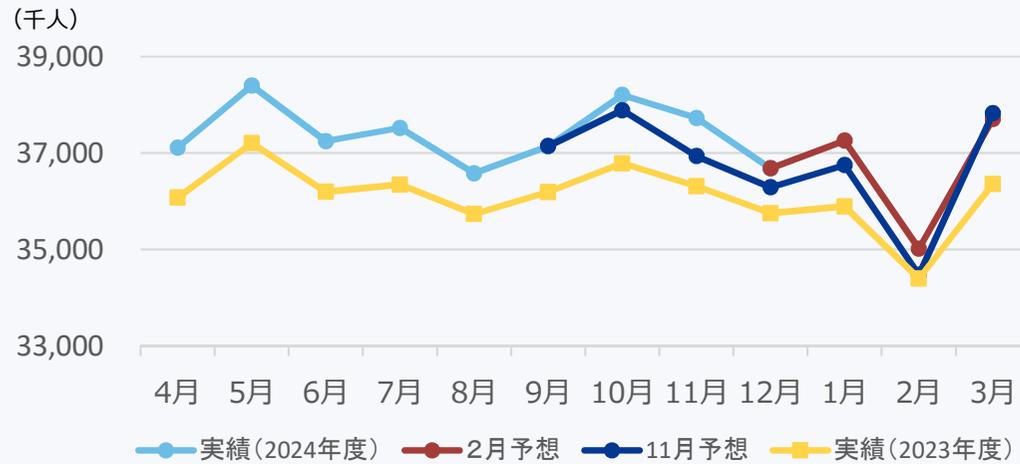
	旅客運輸収入			
	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
定期	264	289	+24	+9.4%
定期外	483	519	+35	+7.3%
合計	748	808	+60	+8.1%

## <羽田空港2駅合計の輸送人員>

(単位：百万人)

	輸送人員			
	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
羽田空港第1・第2ターミナル駅	36	39	+2	+7.1%
羽田空港第3ターミナル駅	11	12	+1	+10.7%
合計	48	52	+3	+8.0%

## <全線輸送人員の予想推移>

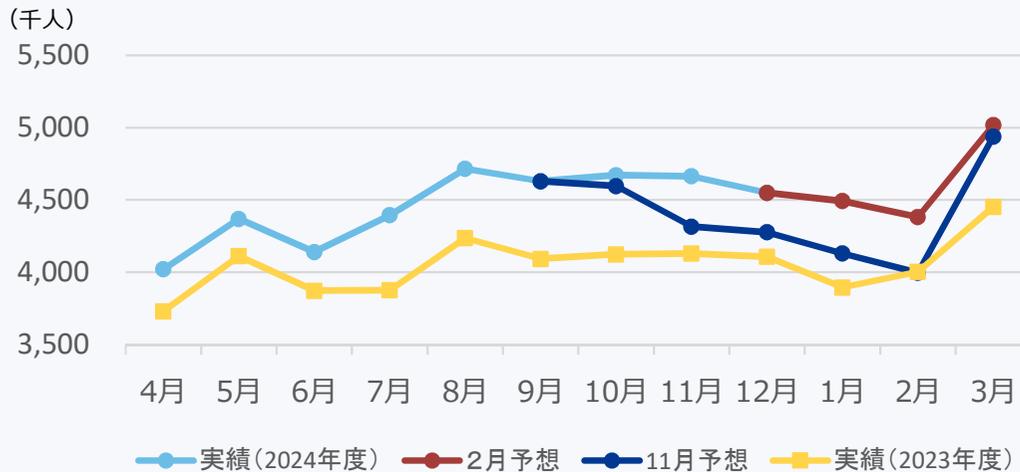


## <全線合計の予想 (対前年) >

(単位: %)

	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	2024年度 通期予想
定期	+2%	+2%	+2%
定期外	+2%	+2%	+2%
合計	+2%	+2%	+2%

## <羽田空港2駅の輸送人員の予想推移>



## <羽田空港2駅の予想 (対前年) >

(単位: %)

	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	2024年度 通期予想
羽田空港 2 駅	+10%	+6%	+8%

(単位：億円)

	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
営業収益	606	662	+55	+9.1%
不動産販売業	419	469	+49	+11.9%
不動産賃貸業	187	193	+5	+3.1%
営業利益	96	70	△26	△27.5%
不動産販売業	49	32	△17	△35.4%
不動産賃貸業	47	38	△9	△19.3%

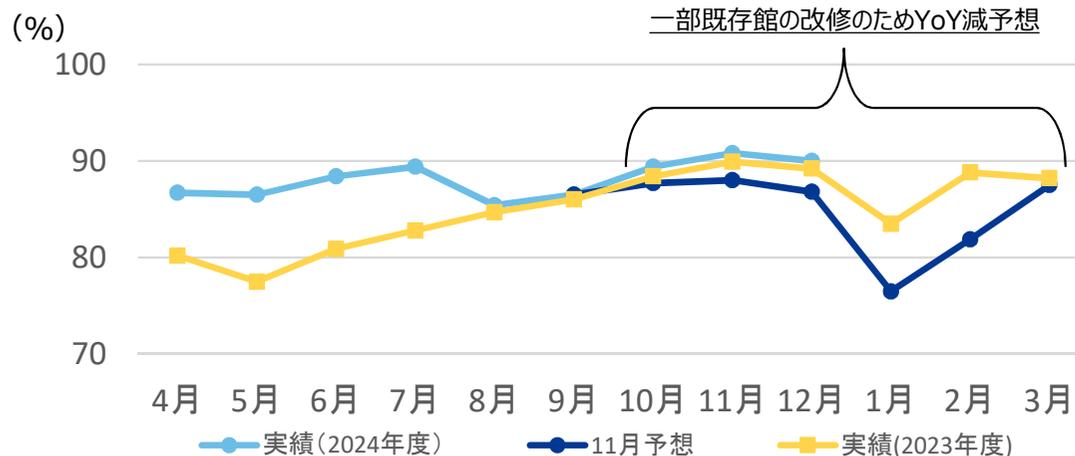
## <2024年度主な引渡し物件>

(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期 (予定)
プライム横浜岸谷	115	2025年2月
プライムスタイル横浜生麦	63	2025年2月
プライムパークス横浜並木 ザ・レジデンス (東敷地)	199	2025年3月
プライムフィット横浜富岡	64	2024年3月

（単位：億円）

	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
営業収益	299	312	+12	+4.3%
ビジネスホテル業	82	95	+12	+15.1%
レジヤ-関連施設業	118	119	+0	+0.7%
レジヤ-その他	98	98	+0	△0.6%
営業利益	45	46	+0	+0.7%
ビジネスホテル業	16	18	+1	+8.3%
レジヤ-関連施設業	19	20	+0	+5.0%
レジヤ-その他	10	8	△2	△20.2%

## <稼働率の推移>



※ 2月予想は11月予想から変更なし

	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	2024年度 通期予想
稼働率	87%	84%	86%

## ■ 流通事業

(単位：億円)

	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
営業収益	724	801	+76	+10.6%
百貨店・S C 業	162	162	△0	△0.6%
百貨店業	126	122	△4	△3.2%
S C 業	36	40	+3	+8.4%
ストア業	561	639	+77	+13.8%
スーパーマーケット業	423	495	+71	+17.0%
コンビニ・物販業ほか	138	144	+5	+4.0%
営業利益	20	18	△2	△13.7%
百貨店・S C 業	7	7	△0	△2.5%
百貨店業	3	2	△0	△23.1%
S C 業	4	5	+0	+12.6%
ストア業	13	10	△2	△20.3%
スーパーマーケット業	5	3	△2	△44.0%
コンビニ・物販業ほか	7	7	△0	△4.0%

## ■ その他事業

(単位：億円)

	2023年度	2024年度 (11月予想)	増減額	増減率
営業収益	461	471	+9	+2.0%
営業利益	15	24	+8	+56.8%



**【ご注意】**

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**【お問い合わせ先】**

経営戦略室 IR担当

Tel 045-225-9396

E-mail [ir-keikyu\\_t7z@keikyu-group.jp](mailto:ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp)